



2020年3月期 第2四半期決算短信(IFRS)(連結)

2019年11月7日

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社
 コード番号 2897 URL <https://nissin.com/jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 安藤 宏基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・CFO 兼 常務執行役員 (氏名) 横山 之雄

TEL 03-3205-5111

四半期報告書提出予定日 2019年11月7日

配当支払開始予定日

2019年11月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	221,361	3.1	19,721	12.5	20,427	12.7	13,469	11.1
2019年3月期第2四半期	214,662	1.9	22,537	20.4	23,387	18.3	15,150	4.2

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円 銭		円 銭	
2020年3月期第2四半期	129.31		128.62	
2019年3月期第2四半期	145.47		144.74	

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
2020年3月期第2四半期	560,344	349,599	324,274	57.9				
2019年3月期	557,577	352,545	326,781	58.6				

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭				
2019年3月期		55.00		55.00	110.00
2020年3月期		55.00			
2020年3月期(予想)				55.00	110.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	465,000	3.1	37,000	27.7	26,000	34.3		249.62

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 上海日清食品有限公司

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

詳細は、添付資料P.13「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (4)要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	105,700,000 株	2019年3月期	105,700,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,533,089 株	2019年3月期	1,543,266 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	104,161,813 株	2019年3月期2Q	104,144,596 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(報告企業)	12
(作成の基礎)	12
(重要な会計方針)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上収益では前年同期比3.1%増の2,213億61百万円となりました。利益面では、営業利益は前年同期比12.5%減の197億21百万円、税引前四半期利益は前年同期比12.7%減の204億27百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比11.1%減の134億69百万円となりました。

当社グループは2017年3月期からの5ヵ年を対象とする「中期経営計画2020」に基づき、「本業で稼ぐ力」と「資本市場での価値」の向上を実現すべく、戦略テーマである①グローバルブランディングの促進、②海外重点地域への集中、③国内収益基盤の盤石化、④第2の収益の柱の構築、⑤グローバル経営人材の育成・強化に取り組んでおります。

<連結業績>

(単位：百万円)

区分	2019年3月期	2020年3月期	対前年同期比	
	自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	金額	%
売上収益	214,662	221,361	+6,698	+3.1
営業利益	22,537	19,721	△2,816	△12.5
税引前四半期利益	23,387	20,427	△2,959	△12.7
親会社の所有者に帰属する四半期利益	15,150	13,469	△1,680	△11.1

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりです。

①日清食品

日清食品(株)の販売状況は、カップめん類が売上を伸ばし、前年同期比で増収となりました。

カップめん類では、濃厚な味噌スープが特長の「カップヌードル 味噌」の売上が好調であったことに加え、「あっさりおいしいカップヌードル」シリーズ、「カップヌードル ビッグ」シリーズが売上に貢献し、前年同期比で増収となりました。袋めん類では、「チキンラーメン」に関するさまざまな意見を「説」として紹介したTVCMが好評を博し、売上に貢献しました。また、「お椀で食べる」シリーズも引き続き好調を維持しましたが、袋めん類では、2019年6月に実施した価格改定の影響を受け、販売数量が一時的に減少し、前年同期比で減収となりました。利益面では、売上の増加による利益の増加がありましたが、関西工場稼働に伴う減価償却費の増加、原材料価格、物流費の上昇等により減益となりました。

この結果、報告セグメントにおける日清食品の売上収益は、前年同期比3.3%増の924億65百万円となり、セグメント利益は、前年同期比4.3%減の117億36百万円となりました。

②明星食品

明星食品の販売状況は、カップめん類が売上を伸ばし前年同期比で増収となりました。

カップめん類で「明星 チャルメラ」「明星 中華三昧」シリーズが好調に推移したことに加え、「明星 旨だし屋」シリーズ、「明星 評判屋」シリーズ等オープン価格商品も伸ばしました。利益面では、物流費の上昇等費用の増加があったものの、2019年6月に実施した価格改定の効果により前年同期比で増益となりました。

この結果、報告セグメントにおける明星食品の売上収益は、前年同期比6.8%増の170億97百万円となり、セグメント利益は、前年同期比5.9%増の13億32百万円となりました。

③低温事業

日清食品チルド(粥)の販売状況は、新製品「そのまんま麺」シリーズが売上に貢献し、「行列のできる店のラーメン」シリーズ、「つけ麺の達人」シリーズも順調に推移しました。しかしながら天候不順による冷しめん類の需要低迷及び焼そば類の販売減により前年同期比で減収となりました。

日清食品冷凍(粥)の販売状況は、主力商品である「日清もちっと生パスタ」、「冷凍 日清スパ王プレミアム」シリーズ、「冷凍 日清中華 上海焼そば 大盛り」、「冷凍 日清中華 汁なし担々麺 大盛り」が順調に売上を伸ばし、増収となりました。しかしながら原材料価格、物流費等が上昇していることにより、前年同期比で減益となりました。

この結果、報告セグメントにおける低温事業の売上収益は、前年同期比0.9%増の279億21百万円となり、セグメント利益は、前年同期比12.1%減の10億20百万円となりました。

④米州地域

米州地域においては、既存商品の収益力の向上に加え、新たな需要の創造に向けた付加価値商品の提案強化に取り組んでおります。

売上ににつきましては、ブラジルでは「CUP NOODLES」の売上が大きく伸長しました。米国については既存品の売上が堅調なことに加え、高価格帯商品の販売推進により売上が好調に推移し、セグメント全体で増収となりました。利益につきましては、価格改定効果、高価格帯商品の販売増等により増益となりました。

この結果、報告セグメントにおける米州地域の売上収益は、前年同期比7.9%増の315億69百万円となり、セグメント利益は、前年同期比26億72百万円増の24億2百万円となりました。

⑤中国地域

中国地域においては、中国大陸での高付加価値商品市場が拡大しており、販売エリア拡大と中国版カップヌードル「合味道」のブランド強化に取り組んでおります。そのような中、売上ににつきましては「合味道」ブランドを中心としたカップめん類が好調に推移し、前年同期比で増収となりました。利益につきましては中国国内における販売数量の増加及びそれに伴うコスト低減により、前年同期比で増益となりました。

この結果、報告セグメントにおける中国地域の売上収益は、前年同期比3.1%増の209億67百万円となり、セグメント利益は、前年同期比31.4%増の22億91百万円となりました。

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントである国内の菓子事業、飲料事業等及び欧州地域、アジア地域を含んだ「その他」の売上収益は前年同期比1.5%減の313億39百万円となり、セグメント利益は、前年同期比58.8%減の37億65百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の当社グループの資産合計は、前連結会計年度末に比べ27億66百万円増加し、5,603億44百万円となりました。当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

資産の増加につきましては、主に非流動資産のその他の金融資産が98億5百万円、現金及び現金同等物が61億74百万円減少した一方、有形固定資産が185億4百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ57億13百万円増加し、2,107億45百万円となりました。これは主に流動負債の借入金が221億円、営業債務及びその他の債務が121億49百万円減少した一方、非流動負債の借入金が296億37百万円、非流動負債のその他の金融負債が121億18百万円増加したことによるものであります。

資本は、前連結会計年度末に比べ29億46百万円減少し、3,495億99百万円となりました。これは主に利益剰余金が77億10百万円増加した一方、その他の資本の構成要素が102億87百万円減少したことによるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の58.6%から57.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月9日に公表いたしました連結業績予想から変更ありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2019年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	57,125	50,951
営業債権及びその他の債権	72,749	70,100
棚卸資産	32,729	35,107
未収法人所得税	1,964	586
その他の金融資産	8,233	10,008
その他の流動資産	6,095	7,173
流動資産合計	178,898	173,927
非流動資産		
有形固定資産	216,831	235,336
のれん及び無形資産	4,470	4,396
投資不動産	7,157	7,132
持分法で会計処理されている投資	43,021	43,659
その他の金融資産	92,738	82,932
繰延税金資産	12,564	12,233
その他の非流動資産	1,896	726
非流動資産合計	378,679	386,417
資産合計	557,577	560,344

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2019年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	106,823	94,673
借入金	29,103	7,002
引当金	820	289
未払法人所得税	6,894	5,625
その他の金融負債	767	4,032
その他の流動負債	17,243	16,559
流動負債合計	161,653	128,183
非流動負債		
借入金	13,297	42,934
その他の金融負債	5,282	17,401
退職給付に係る負債	5,664	5,797
引当金	284	226
繰延税金負債	16,408	13,789
その他の非流動負債	2,442	2,412
非流動負債合計	43,378	82,561
負債合計	205,031	210,745
資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	50,614	50,641
自己株式	△6,718	△6,675
その他の資本の構成要素	29,235	18,947
利益剰余金	228,526	236,237
親会社の所有者に帰属する持分合計	326,781	324,274
非支配持分	25,764	25,325
資本合計	352,545	349,599
負債及び資本合計	557,577	560,344

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上収益	214,662	221,361
売上原価	139,435	142,783
売上総利益	75,226	78,578
販売費及び一般管理費	60,227	61,302
持分法による投資利益	1,931	2,077
その他の収益	6,056	949
その他の費用	448	581
営業利益	22,537	19,721
金融収益	1,197	1,219
金融費用	348	513
税引前四半期利益	23,387	20,427
法人所得税費用	7,655	6,046
四半期利益	15,731	14,380
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	15,150	13,469
非支配持分	581	911
四半期利益	15,731	14,380
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	145.47	129.31
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	144.74	128.62

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
売上収益	111,263	115,466
売上原価	72,395	74,067
売上総利益	38,867	41,399
販売費及び一般管理費	30,707	31,160
持分法による投資利益	1,108	1,073
その他の収益	689	261
その他の費用	254	479
営業利益	9,704	11,094
金融収益	278	212
金融費用	62	171
税引前四半期利益	9,921	11,135
法人所得税費用	2,551	2,914
四半期利益	7,369	8,221
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	6,878	7,669
非支配持分	491	551
四半期利益	7,369	8,221
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	66.04	73.63
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	65.70	73.22

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期利益	15,731	14,380
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する資本性金融資産	2,634	△7,266
確定給付制度の再測定	—	—
持分法適用会社におけるその他の包括利益 に対する持分	△91	86
純損益に振り替えられることのない項目合計	2,543	△7,180
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する負債性金融資産	0	1
キャッシュ・フロー・ヘッジ	40	△26
在外営業活動体の換算差額	△867	△4,939
持分法適用会社におけるその他の包括利益 に対する持分	△1,982	728
純損益に振り替えられる可能性のある項目 合計	△2,809	△4,235
税引後その他の包括利益	△266	△11,416
四半期包括利益	15,465	2,964
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	14,691	2,955
非支配持分	773	9
四半期包括利益	15,465	2,964

(第2四半期連結会計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
四半期利益	7,369	8,221
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産	2,774	△182
確定給付制度の再測定	14	—
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△70	50
純損益に振り替えられることのない項目合計	2,718	△132
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する負債性金融資産	0	△0
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△4	17
在外営業活動体の換算差額	507	△2,365
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△926	3
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△423	△2,346
税引後その他の包括利益	2,294	△2,478
四半期包括利益	9,664	5,743
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	9,122	5,445
非支配持分	541	297
四半期包括利益	9,664	5,743

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2018年4月1日 残高	25,122	51,218	△58,002	1,819	△2,922	△41	30,039
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△1,053	38	2,630
四半期包括利益合計	—	—	—	—	△1,053	38	2,630
自己株式の取得	—	—	△4	—	—	—	—
自己株式の処分	—	3	93	△96	—	—	—
自己株式の消却	—	—	51,190	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	—	—	401	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	△24
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	3	51,279	304	—	—	△24
2018年9月30日 残高	25,122	51,222	△6,723	2,124	△3,975	△3	32,645

	親会社の所有者に帰属する持分					
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分			その他の資本の構成要素		
	合計	利益剰余金	合計	非支配持分	合計	
2018年4月1日 残高	2,458	31,353	280,083	329,776	23,352	353,128
四半期利益	—	—	15,150	15,150	581	15,731
その他の包括利益	△2,074	△458	—	△458	192	△266
四半期包括利益合計	△2,074	△458	15,150	14,691	773	15,465
自己株式の取得	—	—	—	△4	—	△4
自己株式の処分	—	△96	—	—	—	—
自己株式の消却	—	—	△51,190	—	—	—
配当金	—	—	△4,686	△4,686	△626	△5,312
株式に基づく報酬取引	—	401	—	401	—	401
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	531	531
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	△24	24	—	—	—
その他の増減	—	—	△289	△289	6	△283
所有者との取引額合計	—	279	△56,141	△4,578	△89	△4,667
2018年9月30日 残高	384	31,174	239,093	339,889	24,036	363,926

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2019年4月1日 残高	25,122	50,614	△6,718	2,110	△4,656	3	31,749
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△4,050	△14	△7,263
四半期包括利益合計	—	—	—	—	△4,050	△14	△7,263
自己株式の取得	—	—	△3	—	—	—	—
自己株式の処分	—	27	46	△73	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	—	—	270	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	37
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	27	42	196	—	—	37
2019年9月30日 残高	25,122	50,641	△6,675	2,307	△8,707	△11	24,522

	親会社の所有者に帰属する持分					
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分			その他の資本の構成要素		
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計	利益剰余金	合計	非支配持分	合計
2019年4月1日 残高	28	29,235	228,526	326,781	25,764	352,545
四半期利益	—	—	13,469	13,469	911	14,380
その他の包括利益	814	△10,514	—	△10,514	△901	△11,416
四半期包括利益合計	814	△10,514	13,469	2,955	9	2,964
自己株式の取得	—	—	—	△3	—	△3
自己株式の処分	—	△73	—	0	—	0
配当金	—	—	△5,728	△5,728	△613	△6,342
株式に基づく報酬取引	—	270	—	270	—	270
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	313	313
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△7	29	△29	—	—	—
その他の増減	—	—	△0	△0	△147	△148
所有者との取引額合計	△7	226	△5,759	△5,462	△448	△5,910
2019年9月30日 残高	835	18,947	236,237	324,274	25,325	349,599

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(報告企業)

日清食品ホールディングス株式会社(以下、当社)は日本に所在する株式会社です。当社の登記されている本社及び主要な事業所の住所は、当社のウェブサイト(<https://www.nissin.com/jp/>)で開示しております。当社の要約四半期連結財務諸表は、当社及び子会社(以下、当社グループ)、並びに当社の関連会社に対する持分により構成されております。

当社グループの事業内容及び主要な活動は、注記「セグメント情報」に記載しております。

(作成の基礎)

(1) IFRSに準拠している旨に関する事項

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」

(平成19年内閣府令第64号)第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たすことから、同第93条の規定により、IAS第34号に準拠して作成しております。

なお、本要約四半期連結財務諸表は、2019年11月7日に取締役会によって承認されております。

(2) 測定の基礎

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、公正価値で測定されている金融商品等を除き、取得原価を基礎として作成しております。

(3) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、単位を百万円としております。また、百万円未満の端数は切捨てて表示しております。

(重要な会計方針)

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下の(会計方針の変更)を除き、前連結会計年度において適用した会計方針と同一です。

(会計方針の変更)

当社グループは、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」(2016年1月公表)(以下、「IFRS第16号」)を適用しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

IFRS第16号の適用に際し、契約にリースが含まれているか否かについては、IFRS第16号C3項の実務上の便法を選択し、IAS第17号「リース」(以下、「IAS第17号」)及びIFRIC第4号「契約にリースが含まれているか否かの判断」のもとでの判断を引き継いでおります。適用開始日以降は、IFRS第16号の規定に基づき判断しております。

過去にIAS第17号を適用してオペレーティング・リースに分類した借手としてのリースについては、適用開始日に、使用権資産及びリース負債を認識しております。リース負債は、残存リース料を適用開始日における借手の追加借入利率を用いて割引いた現在価値で測定しております。当該追加借入利率の加重平均は、1.4%であります。使用権資産は、リース負債の当初測定額に前払リース料等を調整した額で当初の測定を行っております。

過去にIAS第17号を適用してファイナンス・リースに分類した借手としてのリースについては、適用開始日の使用権資産及びリース負債の帳簿価額を、それぞれ、その直前の日におけるIAS第17号に基づくリース資産及びリース債務の帳簿価額で算定しております。

適用開始日の直前の連結会計年度の末日現在でIAS第17号を適用して開示した解約不能のオペレーティング・リースに基づく将来最低リース料総額(上記追加借入利率で割引後)と、適用開示日現在の要約四半期連結財政状態計算書に認識したリース負債との差額は、主として、土地・建物の解約不能期間を超える期間の見積り差によるものです。

この結果、IFRS第16号適用開始日に使用権資産を20,659百万円、リース負債を19,558百万円それぞれ計上しております。なお、営業利益及び四半期利益に与える重要な影響はありません。

なお、当社グループは、IFRS第16号の適用に際し、以下の実務上の便法を使用しております。

- ・減損レビューを実施することの代替として、リースが適用開始日直前においてIAS第37号「引当金、偶発債務及び偶発資産」を適用して不利であるかどうかの評価に依拠
- ・当初直接コストを適用開始日現在の使用権資産の測定から除外

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、その経営成績を定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、持株会社制を採り、国内7事業会社、海外4地域を戦略プラットフォームとして即席めん事業を中心に展開し、「日清食品」「明星食品」「低温事業」「米州地域」「中国地域」を報告セグメントとしております。「日清食品」「明星食品」「米州地域」「中国地域」は主として即席袋めん及びカップめんを製造販売し、「低温事業」はチルド製品及び冷凍製品を製造販売しております。

(2) セグメント収益及び業績

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益										
外部顧客への売上収益	89,550	16,008	27,671	29,270	20,342	182,843	31,819	214,662	-	214,662
セグメント間の内部売上収 益又は振替高	640	3,251	188	8	376	4,465	14,773	19,238	△19,238	-
計	90,190	19,260	27,860	29,279	20,718	187,308	46,592	233,901	△19,238	214,662
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	12,267	1,257	1,161	△270	1,743	16,159	9,141	25,300	△2,762	22,537
金融収益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,197
金融費用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	348
税引前四半期利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23,387
その他の項目										
減価償却費	3,169	783	429	859	997	6,240	2,750	8,991	113	9,105
減損損失(非金融資産)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
持分法による投資損益	-	-	-	-	-	-	1,931	1,931	-	1,931
資本的支出	27,043	639	1,086	1,367	1,475	31,612	3,878	35,491	-	35,491

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,762百万円には、セグメント間取引消去等△149百万円、グループ関連費用△2,613百万円が含まれております。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益										
外部顧客への売上収益	92,465	17,097	27,921	31,569	20,967	190,021	31,339	221,361	-	221,361
セグメント間の内部売上収 益又は振替高	628	3,391	204	2	495	4,723	15,247	19,970	△19,970	-
計	93,094	20,489	28,126	31,571	21,463	194,744	46,587	241,331	△19,970	221,361
セグメント利益 (営業利益)	11,736	1,332	1,020	2,402	2,291	18,782	3,765	22,548	△2,826	19,721
金融収益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,219
金融費用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	513
税引前四半期利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20,427
その他の項目										
減価償却費	5,576	939	655	501	943	8,616	3,457	12,074	24	12,098
減損損失(非金融資産)	-	-	-	-	-	-	355	355	-	355
持分法による投資損益	-	-	-	-	-	-	2,077	2,077	-	2,077
資本的支出	13,510	626	857	1,076	1,233	17,304	3,406	20,711	-	20,711

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△2,826百万円には、セグメント間取引消去等△131百万円、グループ関連費用△2,694百万円が含まれております。
- 3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

前第2四半期連結会計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益										
外部顧客への売上収益	46,407	7,879	14,017	16,171	11,111	95,586	15,676	111,263	—	111,263
セグメント間の内部売上収 益又は振替高	413	1,789	98	5	124	2,431	7,650	10,081	△10,081	—
計	46,821	9,669	14,115	16,176	11,235	98,018	23,327	121,345	△10,081	111,263
セグメント利益 (営業利益)	6,391	505	495	41	1,329	8,762	2,271	11,034	△1,329	9,704
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	278
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	62
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9,921
その他の項目										
減価償却費	1,613	393	228	434	476	3,145	1,380	4,526	53	4,580
減損損失(非金融資産)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	1,108	1,108	—	1,108
資本的支出	10,142	325	564	741	653	12,427	2,136	14,564	—	14,564

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,329百万円には、セグメント間取引消去等△22百万円、グループ関連費用△1,306百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結会計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益										
外部顧客への売上収益	49,050	8,705	14,353	16,440	11,332	99,882	15,584	115,466	—	115,466
セグメント間の内部売上収 益又は振替高	362	1,799	104	0	283	2,551	7,716	10,267	△10,267	—
計	49,412	10,505	14,457	16,440	11,616	102,433	23,301	125,734	△10,267	115,466
セグメント利益 (営業利益)	7,068	719	297	1,006	1,451	10,543	1,917	12,460	△1,365	11,094
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	212
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	171
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11,135
その他の項目										
減価償却費	2,855	475	333	254	465	4,384	1,704	6,089	11	6,100
減損損失(非金融資産)	—	—	—	—	—	—	355	355	—	355
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	1,073	1,073	—	1,073
資本的支出	7,355	255	400	669	353	9,034	1,646	10,681	—	10,681

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,365百万円には、セグメント間取引消去等△18百万円、グループ関連費用△1,347百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。